



銃弾飛び散るクーデターの街  
 一人の男が消えた！  
 何処へ？何故？

残された妻と父の必死の追跡が始まる...そして、そこには意外な事実が待っていた

# ミッシング



82カンヌ映画祭受賞  
 ●グランプリ作品大賞  
 ●主演男優賞



ジャック・レモン  
 シシー・スベイセク  
 メラニー・メイロン  
 ジョン・シエア  
 脚色/コスタ・ガフラス/ドナルド・ステewart  
 音楽/ヴァンゲリス  
 製作総指揮/ピーター・ガーバー/ジョン・ビーターズ  
 製作/エドワード・ロイス/ミルドレッド・ロイス  
 監督/コスタ・ガフラス

missing.

●カラー作品/ユニヴァーサル映画/CIC配給



# 国が動いた!

## 幸せも、愛もその姿を消した

★ここに描かれていることはフィクションではない。一部登場人物の名前は変えられているが、それ以外の時間、場所、出来事、人物など全ては事実に基づいたものである。———コスタ・ガブラス

1973年9月16日南米チリに発生した軍事クーターのさなか、チャールズ・ホーマンという31才のアメリカ人がサンチャゴの自宅から姿を消した。近所の者の話では、兵士らしき人間に銃をつきつけられ小型トラックに乗せられていったという。またある目撃者によれば、そのトラックは反政府運動者たちが逮捕され監禁されているサッカー競技場に入っていったという。

平凡な一外国人が何故? 何処に? 戒厳令が極度の緊張を生んでいる町中を夫の行方を捜し回る若い妻。一人息子の失踪(ミッシング)という悲報に接してアメリカから駆けつけた父親。愛する者の行方を追う二人の前には不可解な現実が待ち構えていた。クーター発生後の南米チリを舞台に、突然行方不明になったアメリカ人青年の行方を追う妻と父親を通じて、個人の存在などいとも簡単に押しつぶしてしまう国家権力という巨大な怪物を鋭く、かつ大胆に描きあげた実話の映画化で、本年度カンヌ映画祭でグランプリ作品大賞と最優秀主演男優賞を受賞している問題の秀作です。

★ジャック・レモンが演じたエドワード・ホーマンは当時チリより帰米後、当時の国務長官ヘンリー・キッシンジャーを含む11人の公人を、息子の死を共謀、放置したかどで告訴している。遺体はエドワードの手に戻されたが検死不能な状態であった。そして係争数年を経て訴えは証拠不十分で却下されている。

またこの映画で名指して糾弾された形のアメリカ国務省は、映

画がニューヨークで公開される3日前に、この作品の内容は事実無根であるとして3頁にもわたる長文の声明書を発表した。これに対するガブラス監督の反応は、「私が国務省の人間ならたかが映画だ。勝手にやらせとけ、と言うだろう。ムキになったりして、いたっておかしいよ」。エドワード・ホーマンは「この映画には真実に反することは一切ない」と言い切っている。

★この作品は決してガブラス監督の反アメリカ映画ではない。「この物語で最もすばらしいのは、この国がいかにも自己を批判する能力を持ち合わせているか示している点だ。これはアメリカ人が作った。それもラディカルな人達ではない、相当保守的な人達だ。彼らがこの映画のバックボーンである。このこと自体、アメリカという国の民主主義と自由の最大の証拠だ」。初のアメリカ資本映画を撮り終えたガブラスはこう語っている。

★出演は本作品の演技でカンヌ映画祭最優秀主演男優賞を受賞した「チャイナ・シンドローム」のジャック・レモンが、彼の長い俳優歴の中でも最高迫真の名演技をみせる他、「歌え! ロレッタ愛のために」でアカデミー賞をはじめ多くの主演女優賞を受賞したシシー・スベイク。本作品でナイーブな青年を演じてたちまち全米の雑誌のカバーを飾る人気者となった新人ジョン・シエアである。

★作家であり、弁護士でもあるトーマス・ハウザーによって書かれた実話を、「Z」「告白」など常に社会や体制の矛盾を鋭くスクリーンの中で告発してきたギリシャの鬼才コスタ・ガブラスがアメリカで初めて監督したもので、全篇に渡るスリリングなテンポと劇中描かれる人間ドラマに胸強く打たれるに違いない。

### スタッフ

製作……………エドワード・ルイス  
……………ミルドレット・ルイス  
監督……………コスタ・ガブラス  
脚本……………コスタ・ガブラス  
……………ドナルド・スチュワート  
撮影……………リカルド・アロノビッチ  
美術……………ビーター・ジェイミソン  
編集……………フランソワーズ・ボノー  
衣装……………ジョー・I・トンプキンス  
音楽……………ヴァンゲリス

### キャスト

エド・ホーマン……………ジャック・レモン  
ベス・ホーマン……………シシー・スベイク  
テリー……………メラリー・メイロン  
チャールズ・ホーマン……………ジョン・シエア  
タワー大尉……………チャールズ・チョッフィ  
フィル・バトナム……………デビッド・クレノン  
米国外使……………リチャード・ベンチャー  
バトリック大佐……………ジェリー・ハーディン  
カーター・バドコック……………リチャード・ブラッドフォード  
フランク・テルギー……………ジョー・リガルブット  
ケイト……………ジャニス・ルール



# ミッシング

10月30(土)よりロードショー!

特別鑑賞券 ¥1,200  
絶賛発売中!  
(一般 ¥1,500 の処)  
(学生 ¥1,300)

渋谷 東急名画座 (407) 7229

■上映時間 連日 11:30 2:00 4:30 7:00